

事業報告書（令和3年度）

事業名 フードロス削減、一缶でお腹いっぱいになる缶詰をつくって子どもたちに届けよう！

団体名 コノヒトカンプロジェクト

担当者名 三好千尋

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動內容（日時、場所、參加對象者、人數、內容等）

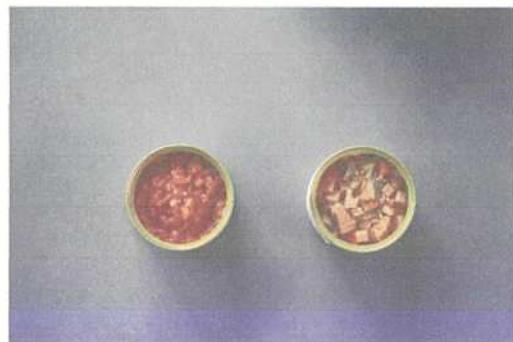
缶詰は2021年3月にレシピ4品をつくり、缶詰工場の「ののもん」にて制作、うち2品を2021年9月に製品化



開発風景(ののもんにて)



試作で出来上がった缶詰4種



最終的に左写真のニクカン、サカナカンの2つに決定

2021年8月に成分検査を行う。サンキ商会の検査をMKフーズに代行してもらう。

ニクカンの成分検査、菌検査

サカナカンの成分検査、菌検査

仕上がったパンフレットと缶詰ラベル



A4パンフレット



品質表示等のラベル

2021年12月に岡山県児童養護施設や岡山県内の子ども食堂や社会福祉協議会、チャリティーサンタなど支援団体23か所に支援致しました。



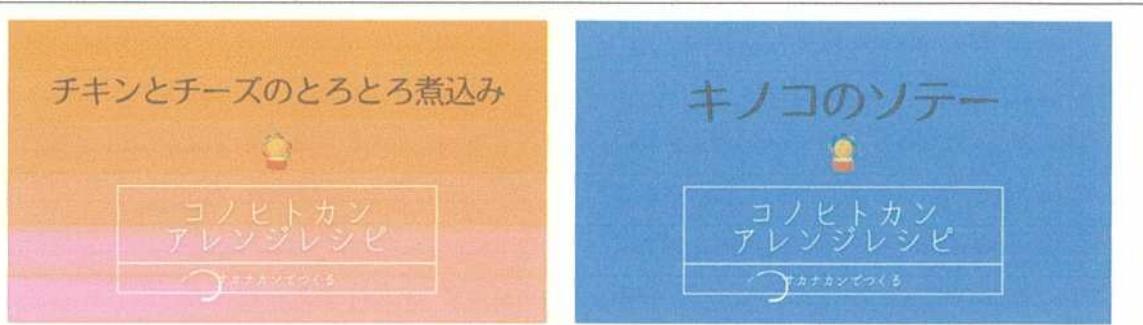
岡山県児童養護施設等協会へ配布



倉敷水島こども食堂ミソラへ配布

2021年12月、2022年1月とシェフによるアレンジレシピ料理教室はコロナの影響で開催できなかったですが、シェフによるアレンジレシピの作り方を動画で撮影しHPにアップして支援した団体に見てもらいました。

(様式第8号)



<https://www.youtube.com/channel/UCvDSRFudVeC1qUuxHBRSz1g/videos>

公開後に支援した子ども食堂アンケートを配布いたしました。

第一回公演用アンケート	
お年齢	アレンジ項目
① 飲料料の販賣	
② 料理	
③ 色々	
④ ポン酢	
⑤ 他	
⑥ 総合評	
⑦ 料理料金(税込)	
⑧ その他、レポート用	略書きメモ欄(加入者の名前を記入下さい。担当シフの記入願います。)
⑨ お詫びの御用意	
⑩ 制作料の算定	
⑪ 利得を記入下さい	チーム登壇者: 中平尾、三村、智永、太田、佐野、曾田、曾根、曾我井名 上ヶ内
⑫ 費用負担が決まりました	
⑬ お問い合わせ	

※このアンケートは公演用に使用させていただきます。
内容は集計して参考にさせていただきます。

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

ESD の視点

視点 1

『岡山高等学校』SDGs の授業の一環として探究活動で 2 年生が取り組んでいるお米づくりとコノヒトカンプロジェクトの缶詰をパッケージ化して販売や支援活動をし成果発表を行いました。またコノヒトカンのデザインやラベル貼りもご協力いただいています。



2021/12/19 コンベンションセンターにて協働の探究活動発表

視点 2

大阪の八尾市にある東山本小学校の 5 年生が制作してくれたコノヒトカン紹介ムービー

https://youtu.be/Xpa7EEH_UAY

小学生5年生のSDGsの授業の一環として缶詰を支援したそのお礼として子ども達がこの紹介ムービーを作成してくれました。想いをカタチにする為に“沢山の大人たちに協力してもらって缶詰ができた”というストーリーをこどもたちに伝えられたムービーです。

このように子ども達と一緒にSDGsの活動を考えることで、さらにESDの理解を深めることができ、子ども達の教育においても実体験ができる事に力を入れて活動をしました。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

※事業内容がESDにどう貢献したか等を記入してください。

コノヒトカンの制作過程で岡山高校の生徒たちにも関わっていただく事で、フードロス問題、貧困児童問題が身近にあるという事を知ってもらう機会になり、率先して岡山高校の先生方や生徒達自らが色々な提案をしてくれた事が当活動を幅広く認知してもらうきっかけに繋がりました。また大阪の東山本小学校のSDGsムービー制作授業が高評価していただき、当活動がSDGsの授業の教材に使用していただくなど、貢献性を感じる事ができました。

4. 今後の課題と展望

今後の展望としましては、子ども達に当活動をもと知つてもらうために、色々な学校の授業の教材として使っていただくために、地域や企業と連携して活動を行ってまいります。